

乙第

号

佐伯圭吾 学位請求論文

審 查 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

報告番号	乙第	号	氏名	佐伯圭吾
論文審査担当者	委員長		教授	奥地一夫
	副委員長		教授	岡本康幸
	委員		教授	羽竹勝彦
	委員		教授	岸本年史
	委員		教授	車谷典男
	(指導教員)			

主論文

Work-related Aggression and Violence Committed by Patients and Its
Psychological Influence on Doctors

医師が患者から受ける暴力被害とその心理的影響

Keigo Saeki, Nozomi Okamoto, Kimiko Tomioka, Kenji Obayashi,

Hisayuki Nishioka, Kenryo Ohara, Norio Kurumatani

Journal of Occupational Health

53 卷, 356-364 頁

2011 年 8 月発行

論文審査の要旨

医療現場において医師が患者から受ける暴力被害は、医師の仕事への集中力や自信を低下させるなどの悪影響が報告されているが、わが国の診療所医師に関する報告はない。本研究は、診療所に勤務する全奈良県医師会員 1,148 名に対して、自記式調査票を用いた郵送調査を実施し、暴力被害の被害発生率（勤務時間あたりの暴力被害件数）、および被害発生の危険因子を明らかにすること、さらに出来事インパクト尺度日本語版(IES-RJ)を用いて、暴力被害経験者の外傷後ストレス障害（PTSD）の有症状者の割合を明らかにすることを目的としたものである。

全対象者のうち 758 名（66.0%）から有効回答が得られた。暴力被害の頻度は 1,000 勤務時間あたり 0.20 件（95%信頼区間 0.17-0.24）と推定され、暴力被害の危険因子は、女性、経験年数の短い医師、皮膚科、精神科、眼科の医師、課税対象所得の少ない地域の診療所に勤務する医師であった。過去に患者からの暴力を経験した 289 名のうち、26 名（9.0%）で IES-RJ スコア高値（>24 点）を認め、PTSD の罹患が疑われた。

本研究は、医師に対する暴力被害の実態を定量的に示すとともに危険因子を明らかにした研究であり、産業保健学分野の進歩に寄与するところ大であり、博士（医学）に値すると思慮する。

参 考 論 文

1. 医療従事者に対する患者暴力の記述疫学
佐伯圭吾、車谷典男、岡本康幸、奥地一夫
奈良医学雑誌、61: 127-134, 2011
2. 全国保健所の精神障害者デイケアサービスの実施状況の推移と影響要因
佐伯圭吾、山田全啓、山下典子、有埜みや子、角野文彦、植村直子、
畑下博世、車谷典男
厚生指標 58: 7-12, 2011
3. Tooth loss is associated with mild memory impairment in the elderly:
the Fujiwara-kyo study.
Okamoto N, Morikawa M, Okamoto K, Habu N, Hazaki K, Harano
A, Iwamoto J, Tomioka K, Saeki K, Kurumatani N.
Brain Res. 1349:68-75, 2010
4. Differences in higher-level functional capacity between participants and
non-participants in health checkups among the elderly.
Okamoto N, Morita N, Saeki K, Matsuda R, Kurumatani N.
Arch Gerontol Geriatr. 42:175-89, 2006
5. SMR の経験的ベイズ推定量についての検討 奈良県市町村別死因統計を用
いて
佐伯圭吾、岡本希、森田徳子、車谷典男
厚生指標 52: 7-13, 2005 厚生指標 58: 7-12, 2011

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに労働衛生学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

平成 24 年 5 月 8 日

学位審査委員長

救急病態制御医学

教 授 奥地一夫

学位審査副委員長

臨床検査医学

教 授 岡本康幸

学位審査委員

法医学

教 授 羽竹勝彦

学位審査委員

精神医学行動神経科学

教 授 岸本年史

学位審査委員（指導教員）

地域健康医学

教 授 車谷典男